

【調査サマリー】建設業界人が思う最も深刻な課題は「人手不足」56.5%

調査実施概要	
調査期間：2023年2月15日～2月22日	回答数：1,000名
調査対象者：全国の建設業界従事者	調査方法：インターネット調査(ゼネラルリサーチ株式会社)

【目次】

調査①『建設業界のマイナスイメージ』 1

- 全体 1
- 【業種別】業界マイナスイメージ（若い人材が少ない） 2
- 【事業規模別】業界マイナスイメージ（若い人材が少ない） 3

調査②『建設業界のプラスイメージ』 3

調査③『建設業界の深刻な課題』 4

調査④『建設業界の課題とその解決方法』 5

- 上位1～3位 5
- 現実に導入が進んでいるデジタル技術 6

【結果詳細】

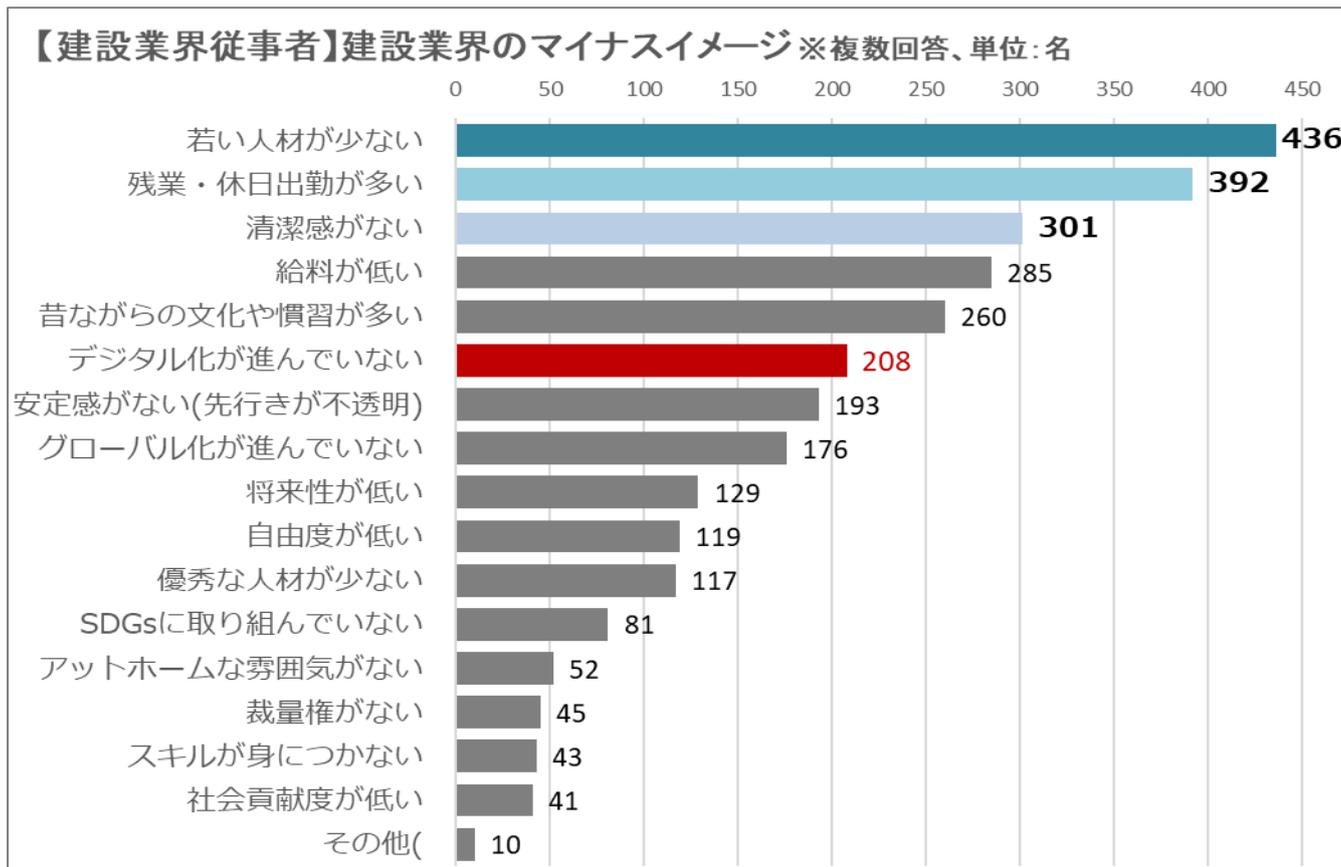
<結果総評>

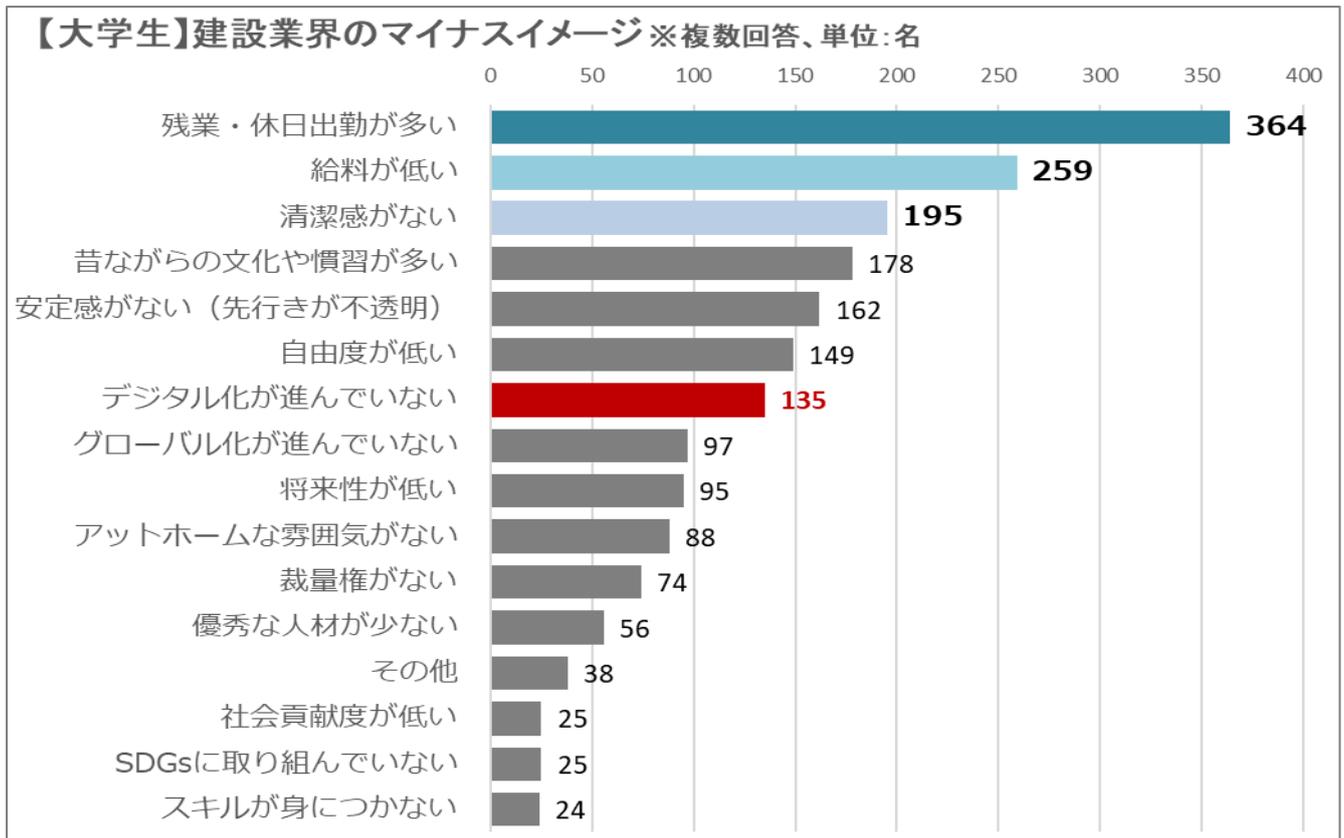
- 建設業界のマイナスイメージとして、全国の大学生 1,000 人および建設業界従事者 1000 人ともに上位に挙がっている「働き方や給与（待遇）」の改善が、若手人材の確保にとっての魅力的な業界への一歩
- 建設業界で最も深刻な課題は何かを尋ねたところ、1位は「人材不足」で56.5%にのぼった。2位には「高齢化による技術継承」22.4%が上げられ、この2項目だけで約8割を占めている

調査①『建設業界のマイナスイメージ』

●全体

建設業界従事者と大学生の結果に大差なく、働き方や給与（待遇）にマイナスイメージあり。「デジタル化が進んでいない」、「自由度が低い」については、建設業界従事者と大学生でイメージギャップが見られることが分かった。大学生よりも、実務に携わる業界従事者は、建設業界ではデジタル化は遅れていると捉えているようだ。



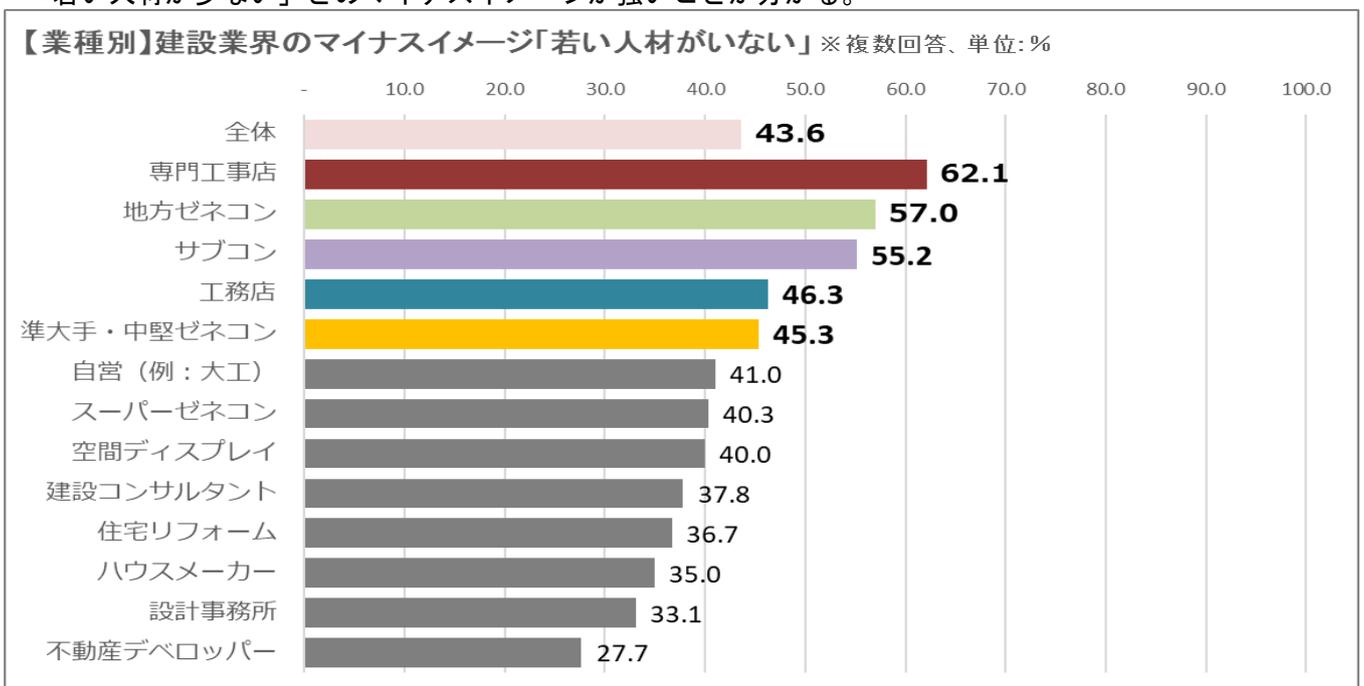


	建設業界従事者	大学生
1位	若い人材が少ない (43.6%) 【注】	残業・休日出勤が多い (36.4%)
2位	残業・休日出勤が多い (39.2%)	給料が低い (25.9%)
3位	清潔感がない (30.1%)	清潔感がない (19.5%)
4位	給料が低い (28.5%)	昔ながらの文化や慣習が多い (17.8%)
5位	昔ながらの文化や慣習が多い (26.0%)	安定感がない/先行きが不透明 (16.2%)

【注】「若い人材が少ない」は建設業界従事者だけの回答項目

●【業種別】業界マイナスイメージ（若い人材が少ない）

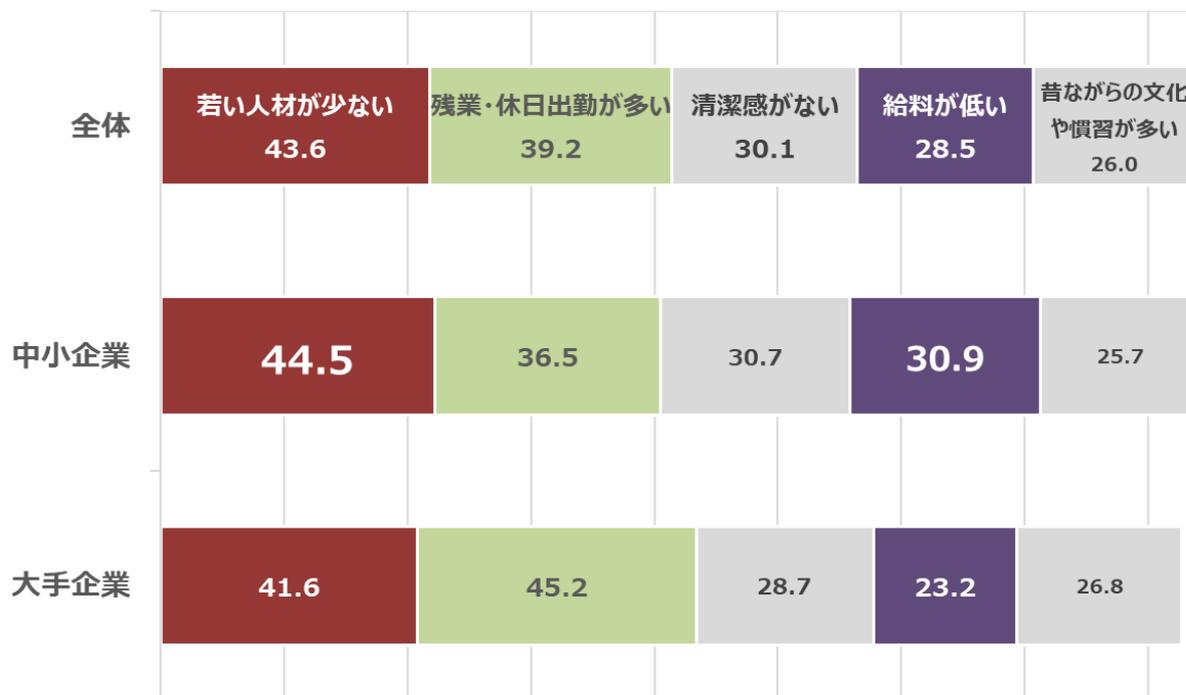
建設業界従事者の「若い人材が少ない（43.6%）」に注目し、業種ごとに見てみると、現場に近い業種ほど「若い人材が少ない」とのマイナスイメージが強いことが分かる。



●【事業規模別】業界マイナスイメージ（若い人材が少ない）

事業規模を中小企業（常時従業員 300 人以下）と、大手企業（常時従業員 301 人以上）で比較してみると、若手人材の確保は中小企業がより苦しく、給料の低さが理由として考えられそうだ。

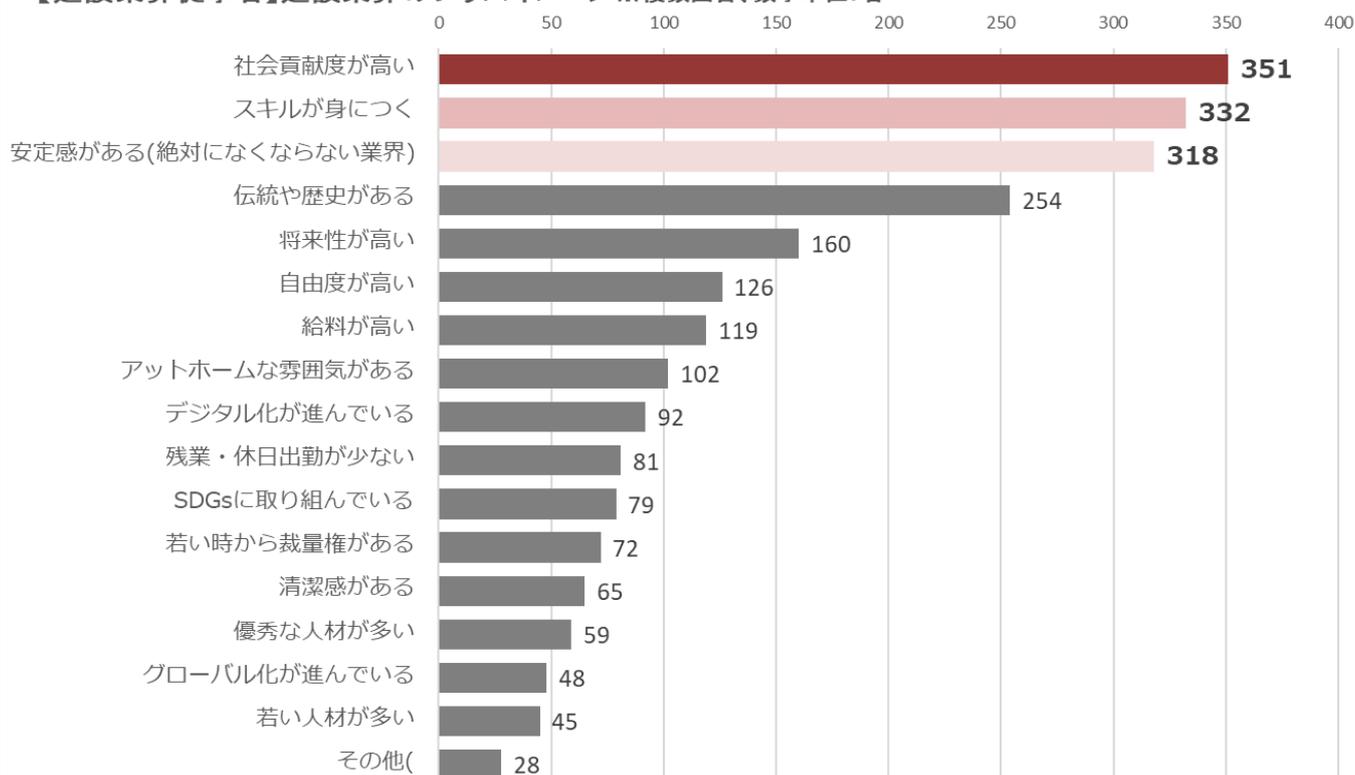
【業種別】建設業界のマイナスイメージTOP5 ※複数回答、単位：%

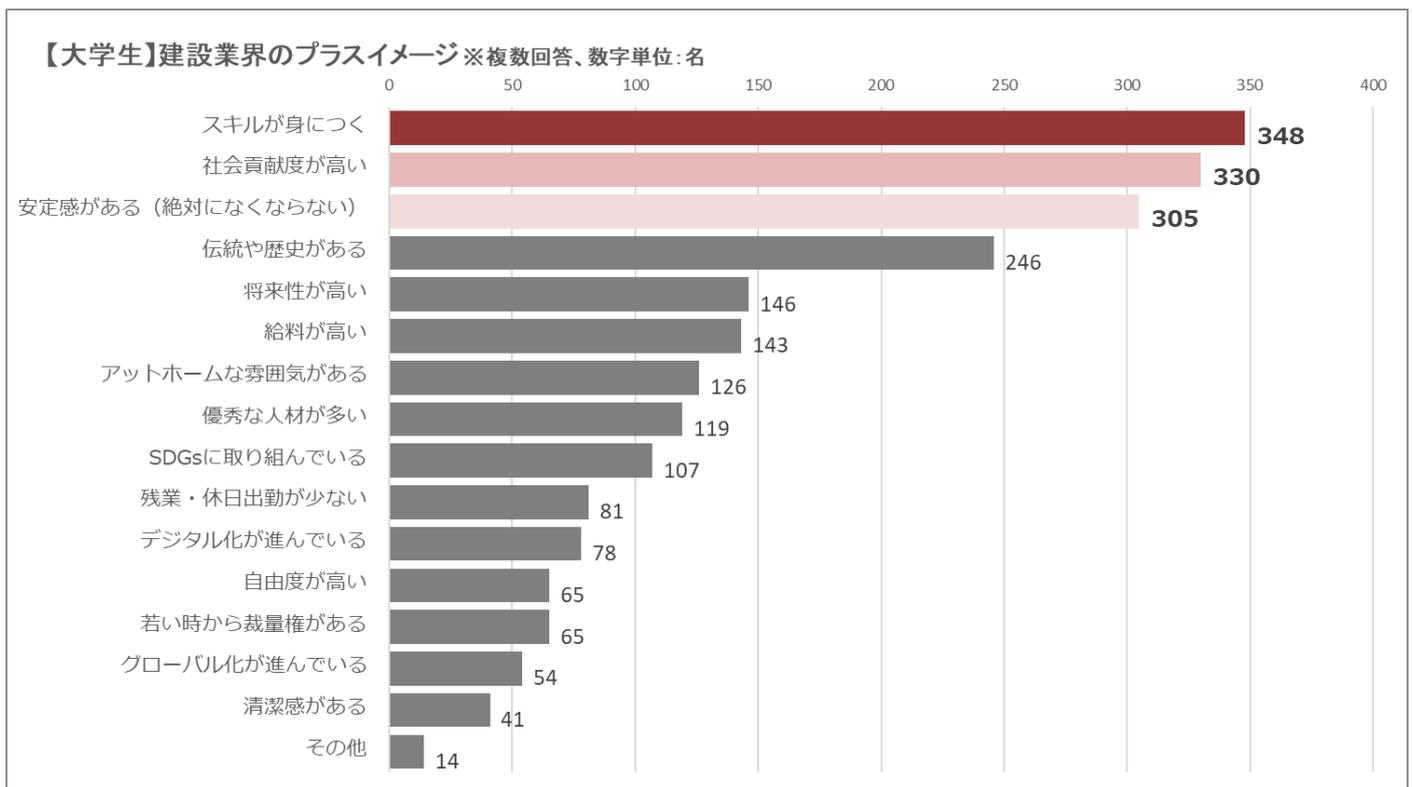


調査②『建設業界のプラスイメージ』

建設業界従事者、大学生共に結果に大差なし

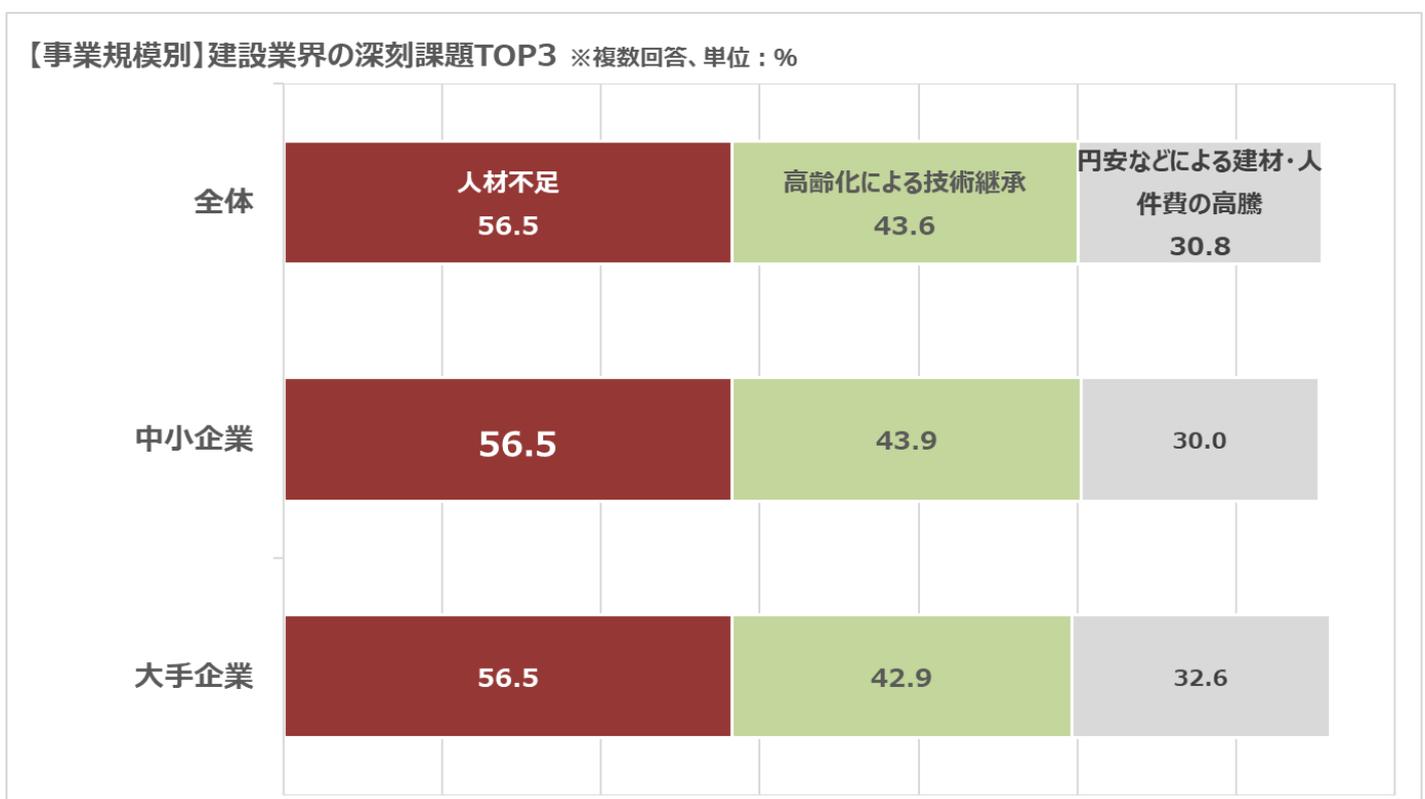
【建設業界従事者】建設業界のプラスイメージ ※複数回答、数字単位：名





調査③『建設業界の深刻な課題』

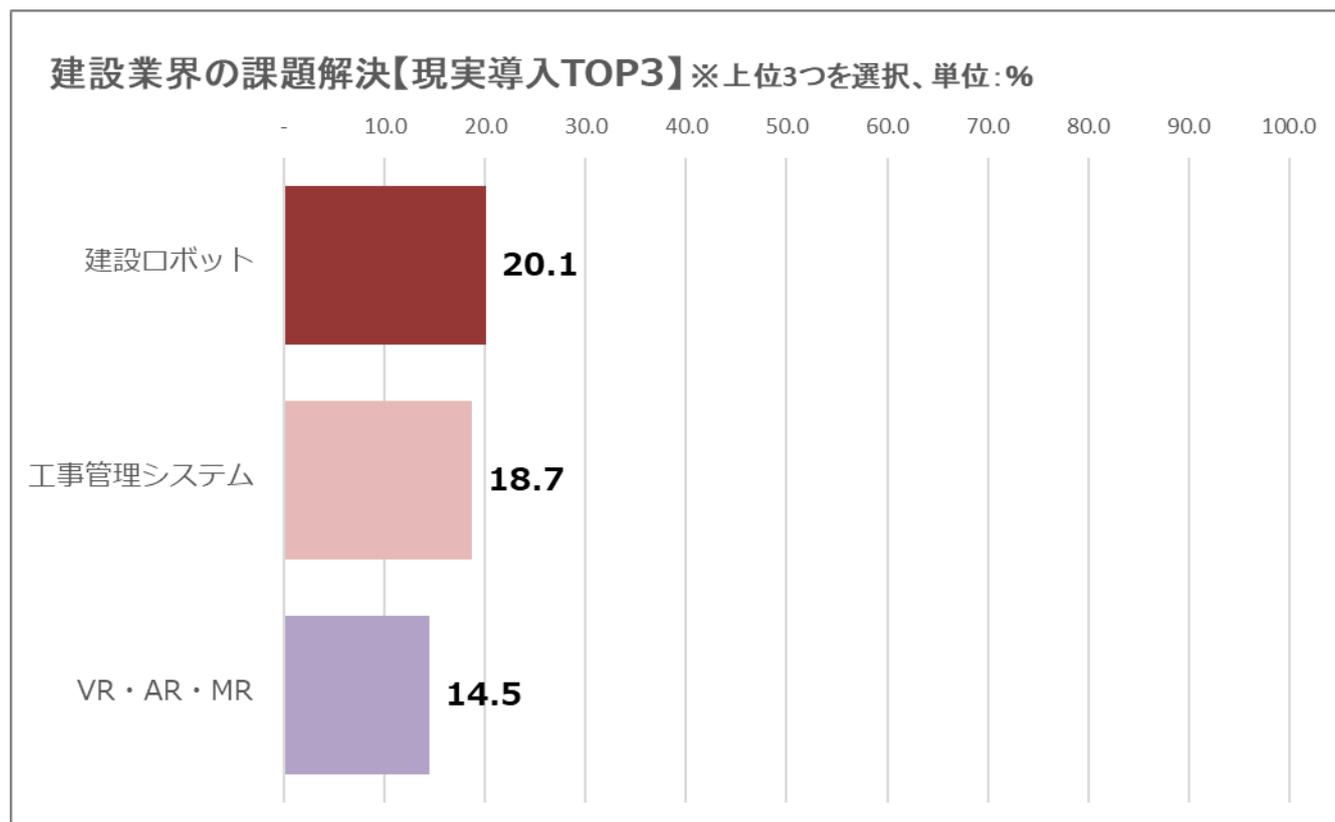
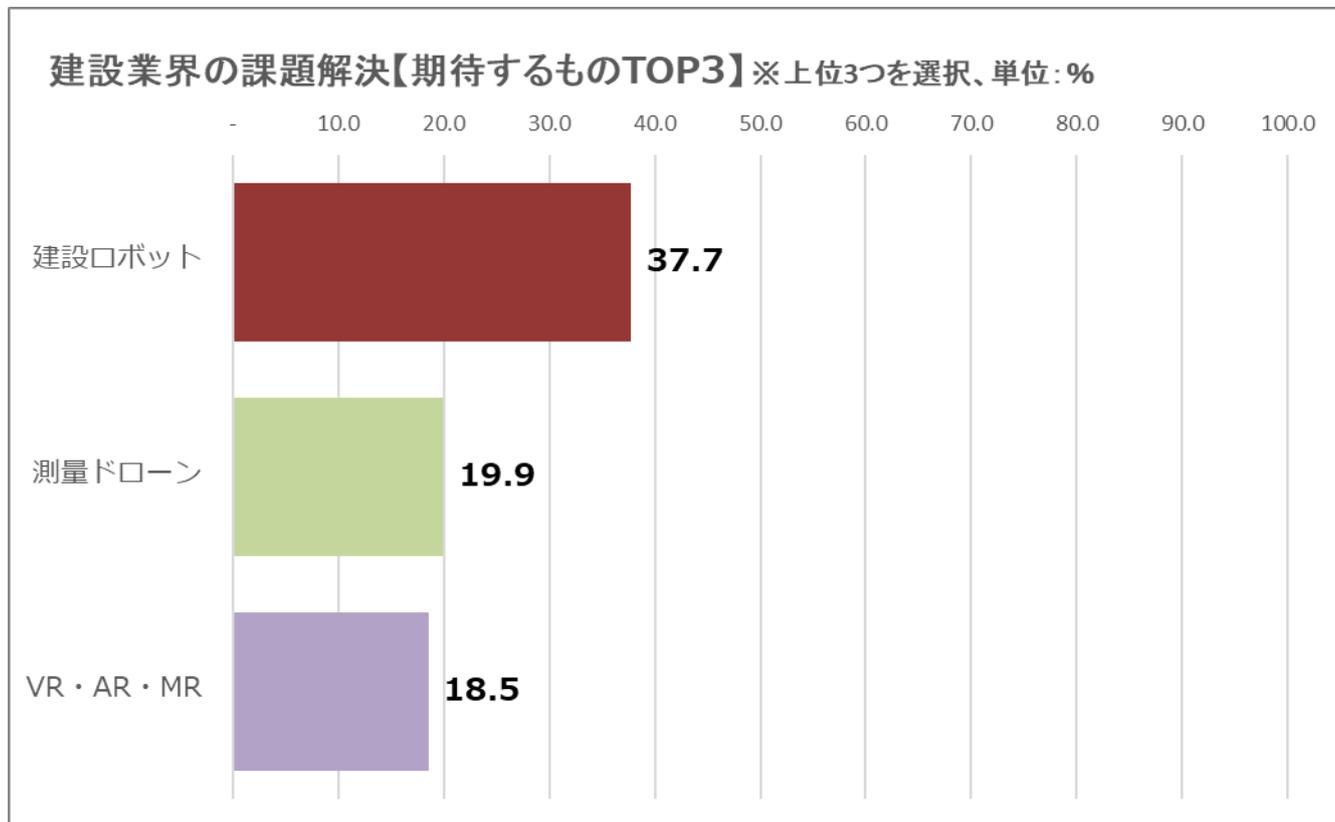
建設業界全体、事業規模のいずれでも 1～3 位は同様の結果が得られたことから、「人材不足」「高齢化による技術承継」「円安などによる建材・人件費の高騰」が業界内の深刻な課題であるとの共通認識が伺える。



調査④『建設業界の課題とその解決方法』

●上位 1～3 位

設業界従事者が思う最大の課題（人材不足、高齢化による技術承継、円安などによる建材・人件費の高騰）に対する解決方法として期待するものと、現実に導入が進んでいるかの現状の上位 3 つをそれぞれ尋ねたところ、結果はいずれの 1 位も「建設ロボット」となった。ただし、その数値からは、「建設ロボット」が、建設業界従事者の期待値は高いが現実的な導入には遅れを感じていることが推測できる。

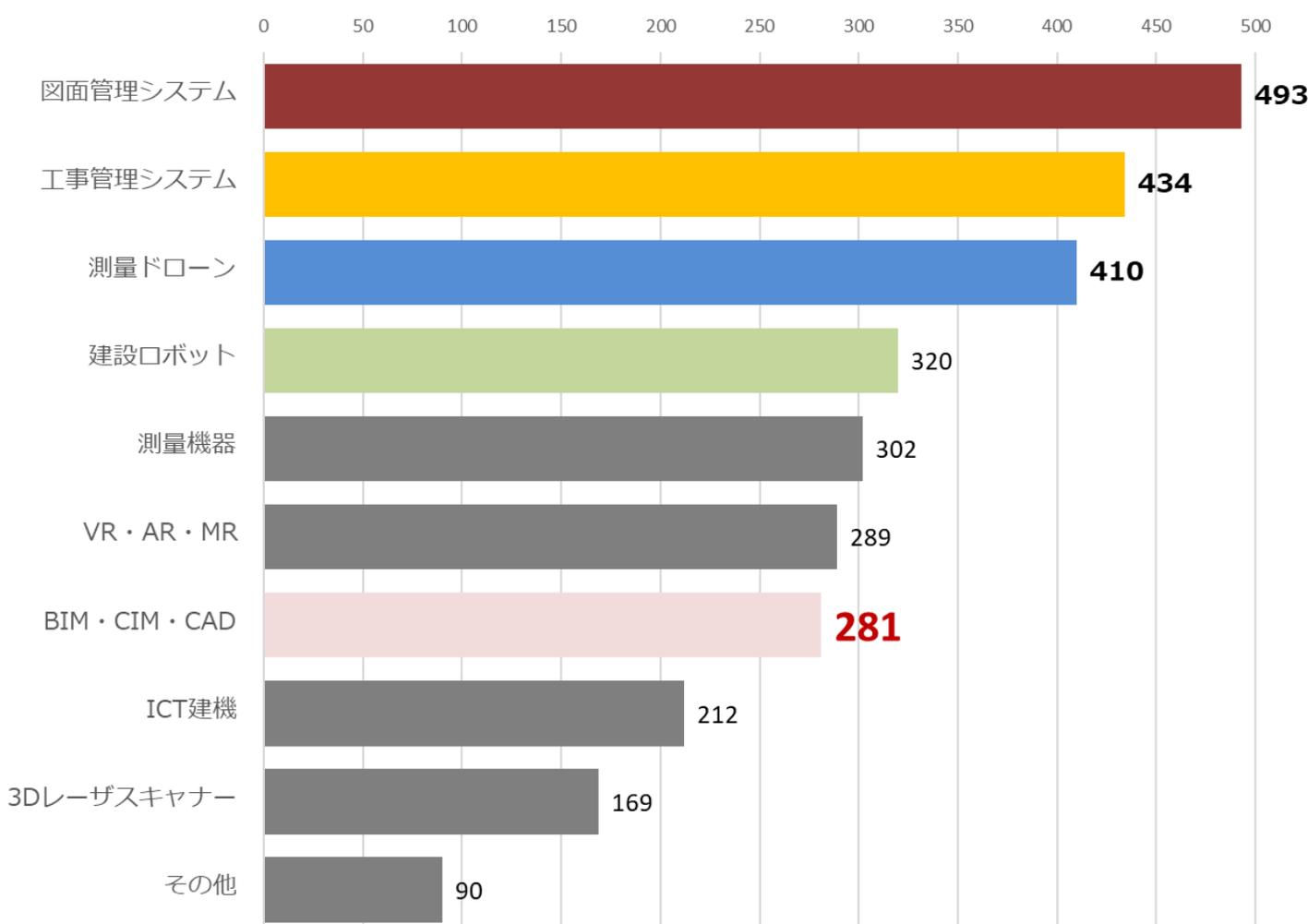


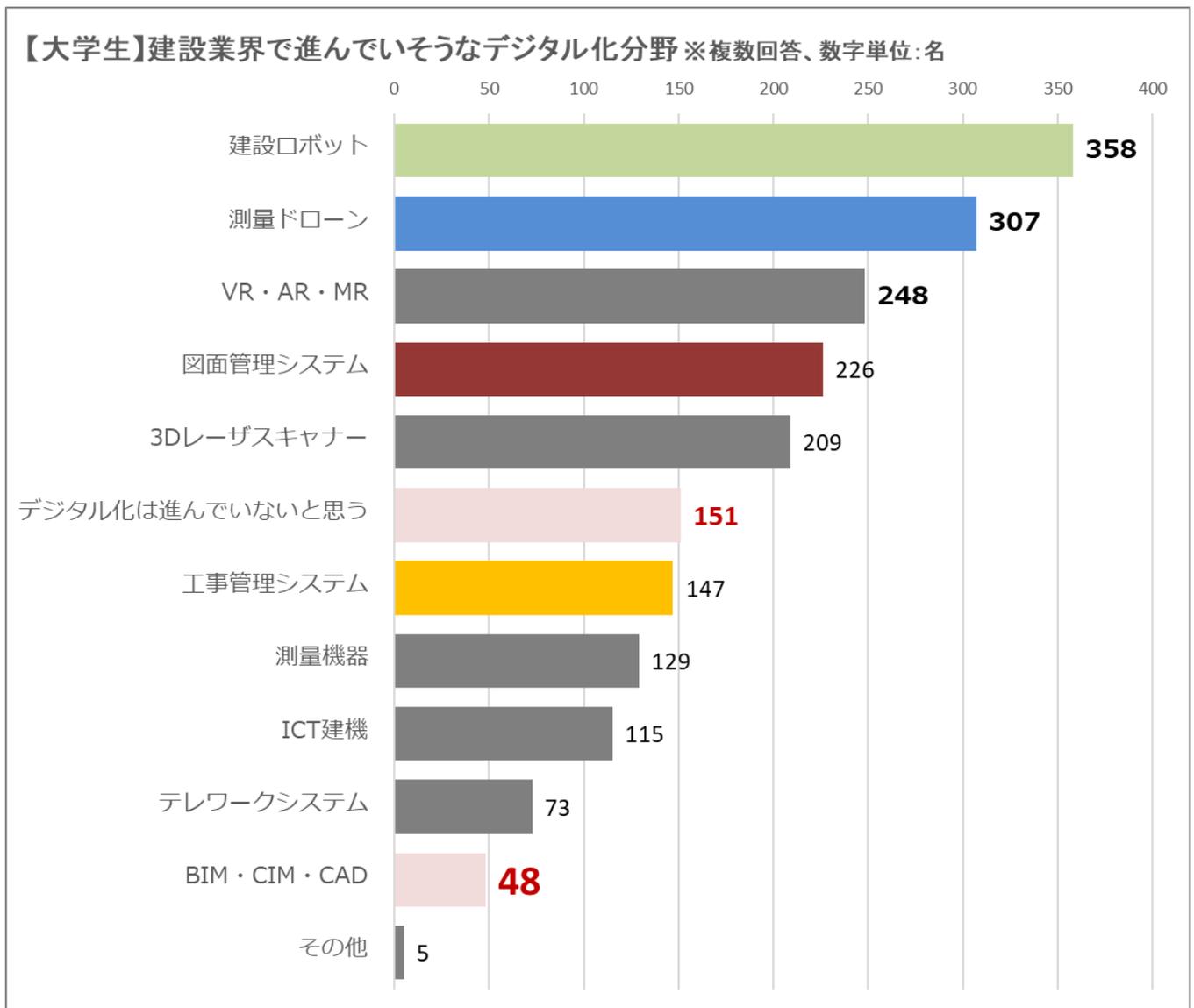
●現実に導入が進んでいるデジタル技術

「建設業界の中で導入が進んでいると思うデジタル技術」みると、BIM・CIM・CAD は、大学生ではランク外であったが建設業界従事者では 7 位となり、ギャップがあることがうかがえる。

	建設業界従事者 1,000 人が思う 「現実に導入が進んでいるデジタル技術」	大学生 1,000 人が思う 「建設業界ではデジタル化が進んでいる分野」
1 位	図面管理システム (493 名)	建設ロボット (358 名)
2 位	工事管理システム (434 名)	測量ドローン (307 名)
3 位	測量ドローン (410 名)	VR・AR・MR (248 名)
4 位	建設ロボット (320 名)	図面管理システム (226 名)
5 位	測量機器 (302 名)	3D レーザスキャナー (209 名)
6 位	VR・AR・MR (289 名)	デジタル化は進んでいないと思う (151 名)
7 位	BIM・CIM・CAD (281 名)	工事管理システム (147 名)
8 位	ICT 建機 (212 名)	測量機器 (129 名)
9 位	3D レーザスキャナー (169 名)	ICT 建機 (115 名)
10 位	その他 (90)	テレワークシステム (73 名)

【業界人】建設業界で導入が進んでいるデジタル技術 ※複数回答、数字単位:名





以上

【本件に関する報道関係者からの問合せ先】

野原ホールディングス株式会社
ブランドコミュニケーション課 (担当: 齋藤)
E-Mail: nhrpreso@nohara-inc.co.jp